香芝市長　福岡　憲宏様　　２０２０．８月１７日

日本共産党奈良２区国政対策委員長　宮本　次郎
日本共産党香芝市委員会　　中井　政友
青木　恒子

# 新型コロナ対策にかんする緊急申し入れ

新型コロナウイルス感染症対策におきましては、市独自対策として、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給では、２万円上乗せや、国民健康保険被保険者に１万円健康維持給付金の支給など、市民に寄り添った緊急対策にご尽力いただいていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染急拡大は、きわめて憂慮する事態になってきています。日々情勢が変わってきている中で、香芝市は大阪の隣でありますし、大阪に通勤通学する住民も多いだけに、秋・冬に向けて、緊急事態に備えることが急務だと考えます。

大都市部では、検査が増えても、陽性率上昇し、感染速度が増しています。急増する需要に検査が追い付いていない状況です。香芝医師会、市内病院と連携しＰＣＲ等検査を実施し、陽性者を隔離・保護するとりくみをしていく必要があると思います。今後、感染拡大のもとでは、検査の目的を診断ではなく「防疫目的」に切り替え、感染震源地（エピセンター）の特定が必要と考えます。
この立場から以下、緊急に申し入れますので、ご検討くださるようにお願いします。

記

１．本市ＰＣＲ等検査拡大のためにも、協力対象となる市内医療施設への減収補填、治療にかかわる医療従事者が減収とならない充分な給付をすること。

２．今後、市内の感染震源地（エピセンター）が出た場合、その地域、事業所の在勤者全員に対して，ＰＣＲ検査を実施すること。感染防止のため、市民に情報提供をする。

３．医療機関、介護施設、福祉施設、保育園、幼稚園、学校など、集団感染リスクが高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なＰＣＲ等検査を行うこと。また、必要に応じて、施設利用者全体を対象とした検査を行うこと。

４．検査によって、明らかになった陽性者を隔離・保護・治療する体制を緊急につくりあげること。また、自宅待機を余儀なくされる市民に、家庭での看護・隔離に必要な物資・生活物資の支援、体調管理を行う体制をつくること。

５．今後、拡大状況下で、地域ごとの検査状況や感染状況について、人権を守り公表していくこと。実態事実を知らせることが、市民に安心と具体的な感染防止の行動につながると考えます。